

糖分が高く、製糖品質が優れる、てんさい新品種

アマホマレ

従来品種と比べて糖分が高く、製糖歩留りに優れる、てんさい新品種です。低糖分圃場における農家所得の向上、製糖コストの低減への貢献が期待されています。

育成期間／平成16年 ▶ 平成21年

品種の特徴

- 従来品種に比べて糖分が高い品種です。
- 製糖品質の指標である不純物価が低く、製糖品質が優れます。
- ベルギーのセスバンデルハーベ社との国際共同研究により育成しました。



農研機構

北海道農業研究センター



北農研

検索

糖分が高く、製糖品質が優れる、てんさい新品種

アマホマレ



てんさい製糖業においては、消費量の漸減や輸入糖等との競合などから、生産コストの大幅な削減が求められています。「アマホマレ」は、従来の品種に比べて糖分が高く、製糖品質も優れているため製糖歩留りが良く、製糖コストの低減につながります。また、糖分が基準に達しにくい低糖分圃場においては、高糖分品種の作付けが糖分向上対策として有効なため、「アマホマレ」は農家所得の向上にも貢献が期待されています。

品種の特徴

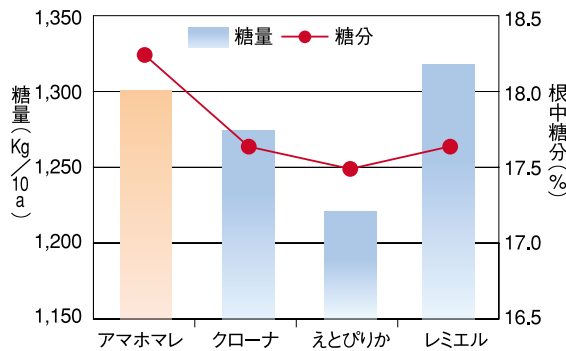
- 既存の品種の中で、最も高い根中糖分を示します。
- 不純物価が低く、製糖品質が優れています。

品種特性

試験年次 品種・系統名	平成19~21年			
	アマホマレ	クローナ	えとびりか	レミエル
根重 (t/10a)	7.15	7.24	6.99	7.51
根中糖分 (%)	18.20	17.61	17.47	17.61
糖量 (kg/10a)	1,298	1,273	1,220	1,320
修正糖量 (kg/10a)	1,168	1,124	1,090	1,177
アミノ態窒素 (meq/100g)	1.67	1.79	1.65	1.81
カリウム (meq/100g)	3.67	4.19	3.62	3.88
ナトリウム (meq/100g)	0.32	0.44	0.46	0.38
不純物価 (%)	3.44	4.00	3.61	3.78
抽苔耐性	強	強	強	強
根腐病抵抗性	弱	弱	弱	やや弱
そう根病抵抗性	弱	—	—	—
褐斑病抵抗性	中	弱	弱	弱
黒根病抵抗性	中	中	中	中

注) 「クローナ」、「えとびりか」および「レミエル」はそう根病抵抗性を有しないため、そう根病抵抗性の評価試験は未実施。
注) 北海道内の5場所において、平成19年~21年の3ヶ年の平均値。

アマホマレの収量性



栽培上の特徴

- 栽培適地は北海道一円です。
- 根腐病抵抗性が“弱”なので、適切な防除に努めてください。
- そう根病抵抗性が“弱”なので、発生圃場での栽培は避けてください。

種子の入手方法

- ホクレン農業協同組合連合会までお問い合わせください。

おいしさ、
深化。
by 北農研



農研機構
独立行政法人 農業者 食品産業技術総合研究機構

北海道農業研究センター

お問い合わせ先

企画管理部情報広報課
TEL 011-857-9260

北農研

検索